

競技運営注意事項とお願ひ

1. 本大会は、2014年度日本陸上競技連盟競技規則、本大会要項及び下記事項により運営する。
2. 参加資格 (1) 平成26年度山口陸上競技協会に登録している競技者及びふるさと登録競技者であること。
(2) 年令基準
①成年の部 平成8年4月1日以前に生まれた者。
②少年Aの部 平成8年4月2日以降、平成10年4月1日までに生まれた者。
③少年Bの部 平成10年4月2日以降に生まれた者。但し、中学生は3年生のみ参加できる。
3. 招集 招集所（競技者係）は、第2ゲート外側に設ける。招集の時刻は
トラック競技 競技開始時刻の40分前に開始し、20分前に完了する。
フィールド競技 競技開始時刻の60分前に開始し、40分前に完了する。
但し、棒高跳は競技開始時刻の80分前に開始し、60分前に完了する。
競技者は招集時刻には招集所に集合すること。代理は認めない。招集時刻に遅れた場合は棄権とみなす。
4. トラック競技の決勝（タイムレース共）においては、腰ナンバー標識（主催者準備）を使用する。
招集時に競技者係で受取り、右腰に付けること。フィニッシュ後直ちに役員に返却すること。
跳躍競技の競技者は、ナンバーカード（ビブス）を背または胸につけるだけでもよい。
5. トラック種目において、予選で参加者が少なくて9人以下になった場合は決勝の時刻に決勝を行う。
6. ナンバーカードは次の番号を記入したものを、胸・背につけること。

一般	山口陸協の登録番号
高校生	高体連登録番号
中学生	山口陸協が設定した番号（プログラムを参照のこと）
大学生	原則として学連登録番号を使用するが、他の部門と重複する場合は 山口陸協が設定した番号（プログラムを参照のこと）

* ナンバーカード布は受付で販売(100円)する。（サインペンは備え付け）
7. バーの上げ方

走高跳(男子)少共	練習1.60	競技1.65 1.70 1.75 1.80 1.85 1.90 1.95 2.00 2.03 . . .
走高跳(女子)成年	練習1.35	競技1.40 1.45 1.50 1.55 1.60 1.65 1.68 . . .
走高跳(男子)成年	練習1.65	競技1.70 1.75 1.80 1.85 1.90 1.95 2.00 2.03 . . .
棒高跳(男子)成年・少A	練習(※)	競技3.00 3.20 3.40 3.60 3.80 4.00 4.10 . . . ※任意の高さとし、2段階の高さで行うこともある。
8. スパイクシューズのスパイクは、全天候舗装用でその長さは9mm以下とする。但し、走高跳・やり投は、12mm以下とする。
9. 用器具 (1) 少年男子B 110mHのハードルの高さ／ハードル間は、0.991m／9.14mとする。
(2) 少年女子B 100mHのハードルの高さ／ハードル間は、0.762m／8.50mとする。
(3) 少年男子A 400mHのハードルの高さは、0.914mとする。
(4) 少年女子A 400mHのハードルの高さは、0.762mとする。
(5) 少年男子B 砲丸投の砲丸の重さは、5.0kgとする。
(6) 少年男子共通円盤投の円盤の重さは、1.75kgとする。
(7) 少年女子共通砲丸投の砲丸の重さは、4.0kgとする。
(8) 少年男子Aハンマー投のハンマーの重さは、6.0kgとする。
(9) 少年女子Aハンマー投のハンマーの重さは、4.0kgとする。
用器具は主催者が用意したものを使用すること。但し、個人所有の投てき用器具を使用したい場合は、競技開始1時間前までに係員の検査を受けること。その場合、合格したものは主催者が預かり、出場者全員が使用できるものとする。
検査場所は用器具庫1（第4ゲート横）で行う。競技終了後同場所で返却する。
10. 大会開始前の競技場内での練習は第1日（8/9）は13時30分、第2日（8/10）は9時30分までとする。ハードルの練習は、100mH及び110mHはホームストレートの6～9レーンを使用する。また400mHはスタートから3台目までとし、6～9レーンを使用する。
(女子：6・7 男子：8・9レーン) 棒高跳は第1日の14時30分まで練習を認めるので、補助競技場は使わない。
また、競技終了後の利用は第1日は18時まで、第2日は16時までとする。
11. 補助陸上競技場での練習は第1日は9時、第2日は8時から競技終了までとする。1・2レーンは中距離練習、3～5レーンはスタート練習、6～8レーンはハードル練習とする。ハードル設置はスタートから3台目までとする。
また、投てきは、やり投の助走練習、ハンマー投・円盤投のターン練習のみ、および砲丸投練習を認める。
なお、投てき練習者以外は芝生内の立ち入りを禁止する。安全には各自で十分注意して行うこと。
12. 雨天練習場走路の利用は一方通行（東から西）とする。逆送は危険なので絶対に行わないこと。
13. 競技会中に生じた事故等について、主催者は応急処置のみ行なう。
14. 競技場内は全面禁煙です。競技場内にゴミ、弁当の空き箱、空き缶などを絶対に放置しないようにして下さい。